

# 浄化槽の健全な普及のために住民の理解を！

NPO 法人 エコネットくまがや  
副代表理事 山田胤雄

特定非営利法人エコネットくまがやは、人と人とのつながりや自然とのふれあいを通して、自然との共生、地域との共存を軸とした環境意識の高いまちを創るため、くまがやを愛する市民の皆様とともに社会教育の推進を図る活動や、環境の保全を図る活動、まちづくりの推進を図る活動、子どもの健全育成を図る活動等に取り組んでいます。現在埼玉県熊谷市で行われている「ムサシトミヨ生息区域保全集中転換促進事業」（地域を限定した単独処理浄化槽転換促進事業）の推進にかかわり、住民の方に接して多くのご意見をお聞きした経験から、浄化槽に対する住民の理解を得る方策について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

## 1 「ムサシトミヨ生息区域保全集中転換促進事業」について

- ① 事業の経緯と実績。
- ② モデル事業での取り組み。
- ③ 水環境の保全を求める地域住民の意識の高揚。



## 2 浄化槽への関心を深めてもらうために必要と思われること。

- ① 何故「水」が大切なのかを知っていただくための映画鑑賞等。
- ② 地域の「水環境」をめぐる昔と今の写真を見ていただく出前環境講座の開催。
- ③ 川を汚している原因の多くは家庭排水であることを理解していただく啓発活動。
- ④ 水環境守るために果たす浄化槽の役割を知っていただくための説明会の開催。
- ⑤ 浄化槽を設置した住民を対象にした浄化槽設置者（管理者）講習会の開催。

## 3 浄化槽のさらなる発展のために行政にお願いしたいこと

- ① 自治会単位の環境学習会の開催・・・埼玉県羽生市で自治会毎に開催している環境講座の紹介。
- ② 小学校での水環境に関する学習・・・熊谷市環境衛生協議会で作成している副教材の紹介。
- ③ 浄化槽設置者講習会の充実・・・「浄化槽を設置してよかった」と思っていただけの内容に。

## 4 業者の方へのお願い

- ① 浄化槽はお客様の大切な財産です。愛情を持って作業にあたってください。

例1（施工）上部スラブコンクリートを打設する際、蓋を汚さないでください。

例2（保守点検・清掃）蓋を開けるときには、鍵の溝をつぶさないで下さい。

浄化槽の上はきれいにして作業を終えてください。

例3（法定検査）台所から夾雑物は流さない、油やみそ汁などの汚れの多いものは流さない、洗剤は使い過ぎない等の努力をしているお客様には「お陰さまで川に流れる水はこんなにきれいです。」と感謝の言葉をかけましょう。そのお客様はご近所の方との懇談の折に、浄化槽の威力と正しい使い方を話題にしてくれることになるでしょう。

## 5 行政と、業界と、市民が 一緒になって浄化槽を育ててゆきましょう